

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ感染症の流行以降、地域とのかかわりが少なくなってきた。現時点でも感染症のリスクはあるものの、少しずつ以前のような地域との関わりがもてるような取り組みが必要である。	夏の地域のお祭りなどの地域行事への参加や、ホームへのボランティアの受け入れなどを実施し、地域資源の一つとなり、多くの方が集まれる場所として地域に根ざせる。	自治会へ改めて挨拶をし、ホームで出来ることや地域のボランティアの受入れを周知して頂く。また、社協などでもボランティア情報を取得	6ヶ月
2	23	長期入居されている方もいる為、入居当時とはご本人やご家族の思いなども変わっている可能性が高いが、定期的な意思確認が行えていない。	改めて一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し、ケアプランに反映させる。	ご本人、ご家族へ今の意志を確認。改めて意向を把握し、出来ること・出来ないことを判断し、アセスメント作成。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。